

なかむら

なおきち

中村 直吉

慶応元年（1865）～昭和7年（1932）

吉田呉服町（現 市内呉服町）出身



生来の旅行好きで、明治21年(1888)から10年間渡米し、大いに見聞を広めた。そして明治34年(1901)に長崎から朝鮮へ渡った事を皮切りに、アジア大陸～ヨーロッパ大陸～アフリカ大陸～南北アメリカ大陸～オセアニア大陸と、様々な国を訪れ、約6年をかけて五大州全てを踏破した。移動総距離はおよそ24万キロに及び、しかも無一文に近い旅だった。

明治40年(1907)の帰国後、明治41年(1908)から、その旅行行程を「五大州探検記」として5巻にまとめ、逐次出版した。

無一文で五大州を
踏破した旅行家